

1. ふるさと丹波市定住促進会議活動状況

定住促進会議総会	1 回	
定住促進会議全体会（全体会議）	4 回	
定住促進会議正副会長会	4 回	
自主イベント（打合せを含む）	12 回	
共催イベント	3 回	
その他	- 回	合計 24 回

2. 各種事業

2-1 地域から挑むキャンペーン事業

①『丹波市移住定住ガイド TURN WAVE -丹波-』の管理運営

平成 27 年 12 月より、サイト名を「丹波定住物語」から『TURN WAVE-丹波-』に変更。サイトも再構成し、内容もリニューアルした結果、アクセスカウント数は、H27 年度 26,426 件（月平均 2,202 件）から H28 年度 50,524 件（月平均 4,210 件）へと増加した。

移住者の紹介インタビュー記事を月 2 本程度のサイトに掲載するとともに、移住者向けの各種イベント記事を随時掲載した。

②東京圏マスメディアへの丹波市 PR 戦略

丹波市の定住・移住に関する PR をマスメディア主導から、自分たち主導の能動的アプローチに切り替え、マスメディアに注目されるような仕掛けや、自分たちが伝えたい切り口でマスメディアが取り上げるように仕掛ける等の戦略的な PR を行った。

③テレワークお試し移住の実施

丹波市が総務省の H28 ふるさとテレワーク推進事業の取り組みに採択されたことから、当事業とタイアップしながら、都市部のテレワーク希望者に、働く場所と住居を提供し、丹波で仕事をして暮らすことで移住や二地域居住につなげる取り組みを行った。

- ・ 1 件目 H28.12.26-12.31 森下昭博・慈子夫妻
- ・ 2 件目 H29.2.1-2.8 仲杏奈氏
- ・ 3 件目 H29.2.13-2.24 中山海里氏

2-2 パンフレットの作成

若者の移住・定住の促進を図るために、ワンストップ相談の窓口や、阪神間、東京圏での移住相談で配布する丹波市の魅力をまとめたパンフレットを増刷（1,000 部）した。

2-3 その他定住移住促進に係る事業

①「東京で丹波にゆかりのある人 500 人と会うまで帰りません企画」の実施

東京圏で丹波市にゆかりのある人に会い、実行者本人が移住後の丹波市での暮らしに活かすことになり、今後に繋がるネットワークを構築するとともに、今後、本促進会議や丹波市などが東京圏で行うイベント、移住相談会等の参加者や協力者、さらにはUターン予備軍としてリスト化を行った。

- ・実行期間 H28.9.16～H28.9.26
- ・実行者 西脇 和樹氏
- ・達成人数 575人
- ・達成報告会の実施 (H28.10.4 於たんば黎明館)

②「丹波の子育てを知る。丹波移住相談おうち茶会」事業の実施

子育て世代の移住検討者及び既移住者を対象とした集まりの場（移住者カフェ）を提供し、子育て・教育に関する情報収集や相談、ネットワーク作りなど、移住前・後のフォロー体制に取り組んだ。

- ・実施日 平成28年12月18日（日）
- ・場所 氷上町氷上地内の民家
- ・参加者 移住希望者5組、移住者3組（計23名）